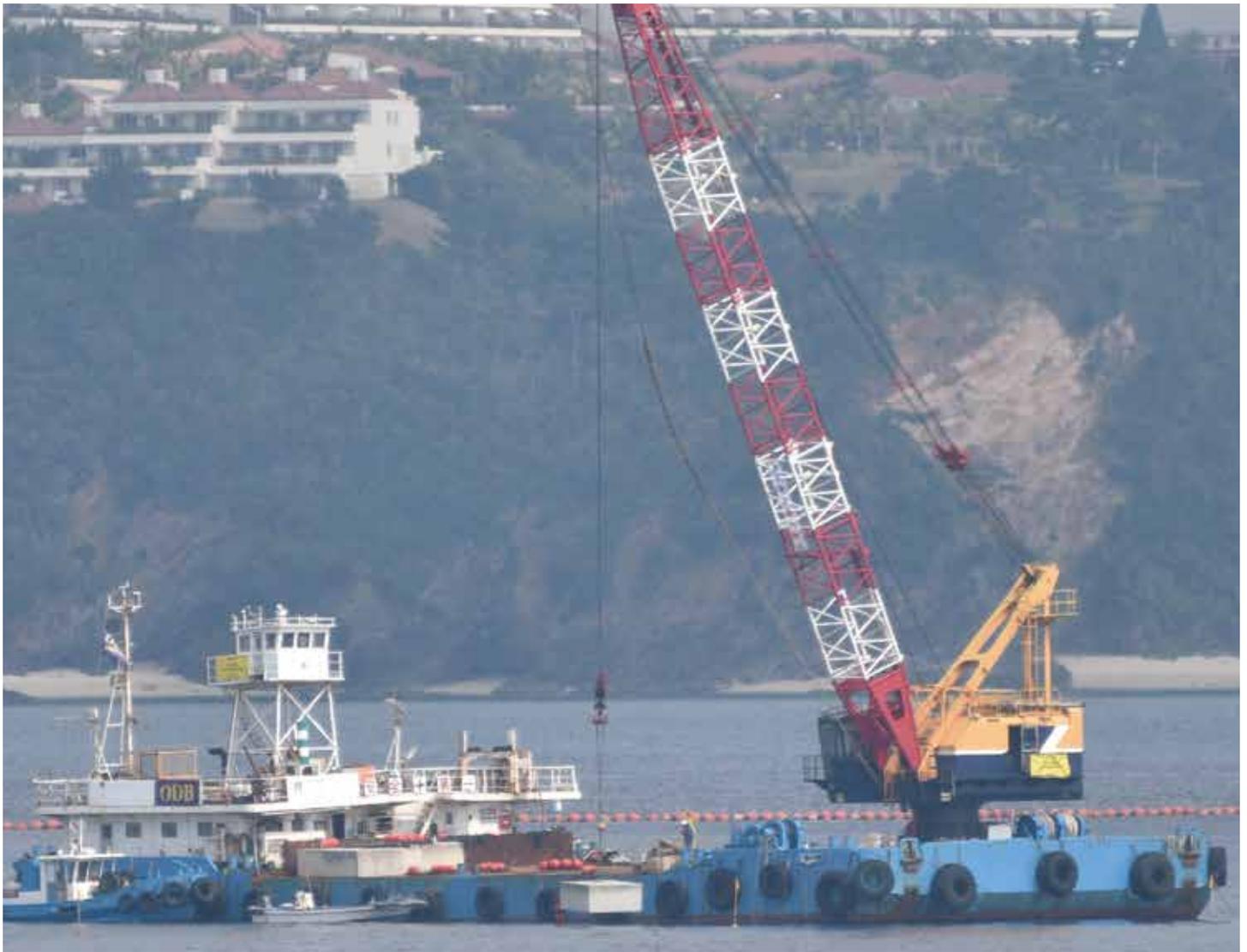


普天間飛行場代替施設建設事業の再開



汚濁防止膜用コンクリートブロックを設置する様子

目次	CONTENTS
普天間飛行場代替施設建設事業の再開について・・・ 2	県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への
第4回久辺三区の振興に関する懇談会開催・・・ 3	取り組み状況・・・ 6
嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設に関する協議会開催・ 3	海上自衛隊佐世保音楽隊が県内各地で演奏・・・ 7
平成28年度日米スポーツ交流事業の開催・・・ 4	キャンプ・シュワブ社会人英語講座開催・・・ 7
防衛施設周辺対策事業・・・ 5	退職者の紹介・・・ 8
入札・契約制度説明会の実施・・・ 6	お知らせ・・・ 8

普天間飛行場代替施設建設事業の再開について

キャンプ・シュワブの沿岸部において実施される普天間飛行場代替施設建設事業については、昨年3月4日の政府と沖縄県との和解成立を受けて工事を中止していましたが、昨年12月20日に最高裁判所による最終的な司法判断が示され、同月26日には沖縄県知事が司法により違法と判断された埋立承認取消処分を取り消したことから、翌27日に事業を再開しました。

1月上旬から2月上旬にかけて、撤去していたフロートを再設置し、その後、2月上旬からボーリング調査及び汚濁防止膜の設置作業を開始しました。

2月末現在、引き続きこれらの作業を行っているところです。

当局としては、普天間飛行場の1日も早い返還を実現し、沖縄の負担を早期に軽減していくよう着実に工事を進めていく考えです。また、工事の実施に当たっては、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮いたします。



フロートの再設置



ボーリング調査を行う多目的作業船

キャンプ・シュワブ陸上部における工事の実施

キャンプ・シュワブにおいては、普天間飛行場代替施設建設事業のほか、陸上部において、埋立工事と直接関係のない施設の建設工事を行ってきたところです。

これらの工事についても中断していたところですが、沖縄県の理解を得た上で、昨年12月15日に隊舎2棟の建設工事を再開しました。

更に、陸上部における施設の建設に必要なコンクリートを製造するコンクリートプラントの建設工事についても、2月中旬に再開したところです。

今後、キャンプ・シュワブ陸上部における施設の建設については、順次、安全に配慮しながら進めてまいります。



隊舎で残っていた型枠等を撤去

第7回環境監視等委員会の開催



第7回環境監視等委員会の様子

1月31日、沖縄防衛局において、第7回「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

当日は、当局より、汚濁防止膜の設置や平成26年7月から平成28年2月までに実施した事後調査等の内容について説明を行い、討議が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業は、これまでも環境監視等委員会の指導・助言を受けながら進めてきたところであり、今後とも同委員会の指導・助言を踏まえて適切に対応してまいります。

「第4回久辺三区の振興に関する懇談会」の開催について

1月19日、防衛本省において、久辺三区長（辺野古区、豊原区及び久志区の三区長）と、沖縄防衛局長、沖縄総合事務局長が出席し、「第4回久辺三区の振興に関する懇談会」を開催しました。

また、地元から久辺三区の各区行政委員長、辺野古区代替施設等対策特別委員会委員長、名護市議会の宮城議員が、中央府省からは、防衛省地方協力局長、内閣府政策統括官及び内閣府沖縄振興局長が同席しました。

●第4回久辺三区の振興に関する懇談会」の概要

今回の懇談会では、「政府の取組状況の報告」を議題とし、沖縄防衛局長及び沖縄総合事務局長から、それぞれの取組状況の報告があり、久辺三区の各区長からご発言をいただきました。

沖縄防衛局長

平成27年度及び平成28年度「再編関連特別地域支援事業」の進捗状況等を説明し、要望事業を一つ一つ着実に完了させ振興を実感いただけるよう引き続き取り組んでいくこと、加えて、平成29年度の要望事業について、引き続き各区と事業内容を調整しながら進めていくことを説明しました。

更に、久辺三区コミュニティ事業基金の各事業の実施に当たり、引き続き各区と名護市との調整等を支援していくことについて説明しました。

また、今回の懇談会で、約2年を経過した節目を向かえたことを踏まえ、各種要望に対するこれまでの取り組み状況を報告しました。

沖縄総合事務局長

生活排水処理のための下水道整備について、名護市が農業集落排水事業を活用することにより、汚水処理施設を整備する予定であり、引き続き、同市に対し、平成32年度着工を目指し、必要な助言等を行っていくこと、県道13号線については、今年度より測量と実施設計を実施しているところであり、平成29年度以降に土地・物件調査等、平成30年度以降に道路改良工事を実施予定であること、更に久辺三区の農業振興への取組について報告しました。

久辺三区長

久辺三区の各区長からは直接補助及びコミュニティ基金事業などについて、国の着実な取り組みに対する評価を頂くとともに、平成29年度事業に対する要望がありました。



「第4回久辺三区の振興に関する懇談会」の様子

第2回嘉手納弾薬庫地区（知花地区）への移設に関する協議会開催

1月31日、沖縄市役所において、第2回目となる「嘉手納弾薬庫地区（知花地区）への移設に関する協議会」が開催されました。

冒頭、桑江沖縄市長から「本協議会を通して、基地から派生する諸問題や市の振興発展に資する事案に関する地域住民の想いを受け止め、国、県、市が連携を図りながら対応していただきたい」旨の挨拶があり、協議会においては、河川の洪水対策及び洪滞緩和対策などの「基地から派生する諸問題」、多目的アリーナ及び池武当インターチェンジの整備などの「振興・発展に寄与する施策」の進捗を図るべく開催した作業部会において協議された各協議事項に係る進捗及び取組み状況の報告が行われました。

沖縄防衛局としては、引き続き本協議会を通して、沖縄市が抱える諸問題や振興発展のために取り組んでまいります。



「第2回嘉手納弾薬庫地区（知花地区）への移設に関する協議会」の様子

平成 28 年度日米スポーツ交流事業の開催

1月21日、沖縄防衛局は、米海兵隊牧港補給地区内体育館において、日米スポーツ交流事業を開催しました。

この事業は、米軍基地の周辺住民の方々と在沖米軍人・軍属及びその家族との相互理解の深化を図ることを目的に、平成20年度から開催しているものです。

今回は、米海兵隊牧港補給地区に所属する軍人・軍属とその家族及び同施設が所在する浦添市の住民の方々の合計約160名が、日米混成8チームを構成し、玉入れ、五色綱引き、二人三脚リレーなど様々なゲームを行い、交流を深めました。

また、昼食時には、浦添市の子どもたちが、竹馬、けん玉など演技を披露するとともに日米参加者が一緒に基地内のハンバーガーを食べたり、けん玉ダンスを体験するなど楽しいひとときを過ごしました。

本事業の開催にあたり、浦添市長をはじめ、神森学童及び宮城学童の関係者、米海兵隊キャンプ・キンザー司令官など、多くの方々のご支援、ご協力をいただきました。



松本浦添市長による挨拶



玉入れの様子



参加者全員で記念撮影



3代目 J Soul brothers の曲にあわせてけん玉ダンス

宜野湾市長田地区にコミュニティ供用施設及び児童館が完成

3月12日、「長田地区コミュニティ供用施設(1階部分)」「長田児童館(2階部分)」の落成式典が開催され、佐喜眞宜野湾市長を始め、長田区民及び関係者出席の下、多くの方々が完成を祝いました。

本施設は、長田区民のコミュニティ活動の拠点として、子育て支援などを図るとともに、また、災害時における緊急避難場所として、地域住民の福祉の向上及び基地周辺の民生安定に寄与することを目的に「防衛施設周辺整備統合事業」により整備されたものです。

式典において、当局の中嶋局長より「本施設が地域のコミュニティ活動や子育て支援、防災施設の拠点として活用され、さらなる地域社会の発展に寄与するものと期待し、また、今後とも周辺地域の皆様の生活の安定と福祉の向上のため、各種の施策の推進に努めていく」旨の祝辞を述べさせていただきました。

当局としては、本施設が長田区民の皆様の様々な活動の場として活用され、長田地域の益々の発展に寄与することを心より願っております。



テープカットをする佐喜眞市長ほか



完成したコミュニティ供用施設及び児童館の外観

富濱長田自治会長のひとこと

宜野湾市長田区におきましては、老朽化した公民館の建て替えに向け、平成24年3月に「長田区公民館建設委員会」を立ち上げ、新しい公民館建設事業の推進に取り組んできました。

今般、「長田地区コミュニティ供用施設」と「長田児童館」の合築の施設として整備させていただき、素晴らしい地域活動の拠点が完成しましたことに地域住民一同喜びに堪えません。

これから自治会を取り巻く環境はますます厳しくなっていくものと思っております。そうした中で、長田地区コミュニティ供用施設及び長田児童館の完成を契機として、当施設がこれまで以上に人がつながる地域づくりの拠点となり、また、地域課題の解決の役割を従来にも増して果たせるものと期待しております。

結びに、本施設建設にご尽力、ご協力を賜りました沖縄防衛局をはじめ、関係各位に深く感謝いたします。

嘉手納町屋良地区に嘉手納町立学校給食調理場が完成

3月2日、嘉手納町が既存共同調理場の老朽化が著しいことから特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、改築を進められていた嘉手納町立学校給食共同調理場が完成し、落成式典が開催され、當山嘉手納町長、多くの関係者の方々及び当局局長が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、新たに衛生的な調理環境を維持するドライシステムなどを採用するとともに、空調機器及び見学スペースを備えており、衛生面における安全性の向上、調理に従事する方々の作業環境の改善及び嘉手納町の子供達の食育に寄与するものと確信しております。

当局としては、引き続き、地元のご要望に添えるように努めてまいるとともに、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んで参ります。



嘉手納町立学校給食共同調理場の外観



テープカットをする當山町長ほか

入札・契約制度説明会の実施

キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の返還に伴う支障除去措置の一環として、沖縄防衛局では、当該地区における不発弾探査を昨年度から実施し、本年度も引続き不発弾探査を実施していくこととしています。本年1月6日、不発弾探査のための磁気探査業務22件について入札公告し、同日、(一社)沖縄県磁気探査協会の要請に応え、沖縄防衛局が実施する業務の入札・契約制度について説明を行いました。

これらの磁気探査業務は、非常に広大な敷地において、参加資格要件等を共通化できる多くの業務が同時期に実施されるので、発注者・入札参加者双方の事務負担の軽減を踏る一括審査方式を試行することとしています。さらに、協会等からのご要請を受け、本年度の磁気探査業務から管理技術者の資格要件として、新たに「磁気探査技士(沖縄県磁気探査協会認定)」の資格を追加することとしました。

これらの施策を講じることにより、地元企業がより入札参加しやすい環境を整備することができたと考えております。

今後とも、当局としましては、地元業界団体等のご意見・ご要望を真摯に耳を傾け、地元企業がより入札参加しやすい環境を整備するよう取り組んでいきます。



説明会の様子

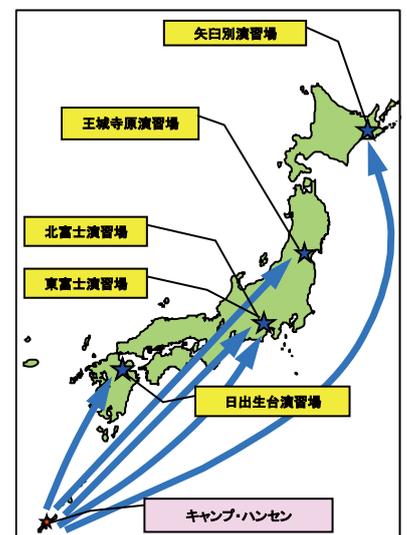
県道104号線超え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、いわゆる県道104号線超え実弾射撃訓練については、平成8年12月の日米特別行動委員会(SACO)の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成9年7月から本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに69回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

平成29年度の訓練計画については、本土5カ所の演習場のうち、以下の4カ所で実施を予定しており、各演習場における訓練の具体的な日程等については、今後、日米間において調整を行い決定します。

今後とも、本土5カ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでいきたいと思っております。



本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施

【平成29年度訓練計画】

第1回	王城寺原演習場	平成29年	5月中旬～6月中旬
第2回	東富士演習場	平成29年	9月中旬～10月中旬
第3回	矢白別演習場	平成29年	11月中旬～12月中旬
第4回	日出生台演習場	平成30年	1月下旬～2月下旬

※上記期間は、部隊の展開期間である

海上自衛隊佐世保音楽隊 沖縄県各地でコンサート演奏

去る1月21日石垣市民会館、同28日うるま市石川会館、同29日豊見城中央公民館にて、海上自衛隊佐世保音楽隊のコンサートが開催され、また、同24日には、久米島にて慰問演奏も行われました。いずれの会場も同音楽隊の演奏により大いに盛り上がりました。

佐世保音楽隊は、昭和30年に創設され、山口県の西側から九州全域及び沖縄県を担当区域とし、「隊員の士気高揚のための演奏」「儀式、式典における演奏」「広報のための演奏」を主たる任務として、年間70回の演奏を行っています。佐世保音楽隊独自の活動方針としては、「皆様に愛され親しまれる音楽隊」を掲げ、学生に対する演奏指導や地域行事への参加・協力などを通じて、出会いやふれあいを大切に日々活動しています。

(寄稿:自衛隊沖縄地方協力本部)



石垣市民会館



うるま市石川会館

平成28年度キャンプ・シュワブ社会人英語講座開催

キャンプ・シュワブでは、毎週水曜日に社会人のための英語講座が開催されています。

この講座は、4月の1週目から翌年の3月までの1年にわたる講座で、平成14年度から実施しているものです。当時のベネット基地司令官が、「是非、地元社会人を対象にした英語教室を開催したい」と発案し、今年度で開講15年目を迎えています。

当講座世話役のキャンプ・シュワブ伊波渉外官によると、「クラスは、上級クラス、大学生クラス及び初級クラスの3クラスに分かれ、自分の英語能力に応じ好きなクラスを選択してもらっています。現在、受講登録されている方は96名で、受講生は多岐にわたっています。この講座は、ボランティアとして参加している若い隊員の協力が大きく、海兵隊を退役後、本国へ帰って、大学へ進学し教員になった隊員もいます。」とのことでした。

上級クラスの講師は、2年前からカミナ曹長夫妻が担当されており、取材当日の題材は、童話「赤ずきん」をオオカミ側から見た内容で、ユニークな話で教室は終始笑い声が飛び交っていました。

講座の最後に、受講生全員とボランティアの隊員が教室に集まり、講師のアンソニーさんの Surprise Birthday Party があり、奥様のミッシェルさんと終始笑顔で感謝されていました。



受講生の隣に座り助言するアンソニー氏(右側男性)



ジェスチャー混じりで教壇に立つミッシェルさん

退職者の紹介



総務部
眞鍋 誠孝

沖縄防衛局では、平成29年3月31日付けで10名の職員が定年退職します。これまで長年にわたり防衛行政に御理解、御協力いただいた沖縄県民の皆様に対し、心から深く感謝申し上げます。これからも引き続き沖縄防衛局をよろしくお願ひいたします。

総務部長 眞鍋 誠孝



施設管理課
下地 洋充



建築課
南 善美



周辺環境整備課
金城 重則



金武出張所
野原 文雄



返還対策課
山内 明夫



労務管理官付
石川 美恵子



施設補償課
伊良皆 郁代



建築課
栗林 淳子



総務部
横田 豊宏

【お知らせ】米軍基地での勤務を希望される方へ

在日米軍従業員の事前募集受付中！

応募は24時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです！
HP アドレス：<http://www.lmo.go.jp> で検索できます。

応募資格 沖縄県在住の満18歳以上の方

応募方法 インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効です。
・インターネット：エルモのHP (<http://www.lmo.go.jp>) を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。(スマートフォンはインターネット応募と同様)
・窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
・応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。

受付時間 インターネット：年中24時間受付中

・窓口応募：受付時間は午前9時～午後5時30分（土曜・日曜、祝日及び12月29日～翌年1月3日を除く。）

受付窓口・お問合せ先



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構 (エルモ) 沖縄支部 管理課
嘉手納町字屋良1058番地1 (道の駅かでな隣り) TEL(098)921-5532



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp